

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000472
事業所名	グループホーム此の花

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナの5類感染症移行後は、地域行事が復活し、ホームとしても参加できるものから参加を始めている。ホームから出かけるばかりではなく、ホームの避難訓練に地域の人が参加したりと、相互の交流の実現もある。地域包括支援センター主催の認知症カフェでは、認知症専門の立場で相談役として貢献している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	今年の7月から対面での会議開催に踏み切っている。身体拘束適正化委員会も運営推進会議の中で実施し、高齢者介護の理解を推進している。会議の中で防災の避難訓練を実施したり、介護に関する情報を発信したりと、報告にとどまらない、参加型の会議が参加者の興味を引き、忌憚のない意見や提案を引き出している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市の担当部署とは、ホームの運営に関する相談・報告を通じて適切に連携している。再開した介護相談員の来訪を受け入れ、ホームと利用者の実情理解を進め、聞き取った意見や提案をホーム運営や支援内容に反映させている。地域包括支援センターとは、地域包括支援センター主催の認知症カフェ等で協働し、認知症介護の相談役として貢献している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族との距離を近くにとどめ、忌憚のない意見や提案の聞き取りに努めている。来訪時や電話連絡時の聞き取りばかりではなく、コロナの5類感染症移行後は、「意向アンケート」を実施し、把握した内容をコロナ対応・対策に反映させている。面会や外出等、意向に沿った対応に踏み切れたのも、アンケート結果から見出した成果である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

今年の7月から対面での会議を実施している。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
	4. 市町村との連携
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○	◎							